

業務連絡

1

第5週アジア2: イスラム世界と大国の利害



地誌学I ポスト911世界の新地政学

2



同時多発テロ

- 対象
世界貿易センタービル(ニューヨーク)
国防総省(ワシントンDC近郊)
(ペンシルベニアに1機墜落)
- 死者・行方不明者
3325人(2001年12月19日現在)
- 実行犯
イスラム原理主義国際テロリストグループ=**アル・カーイダ**

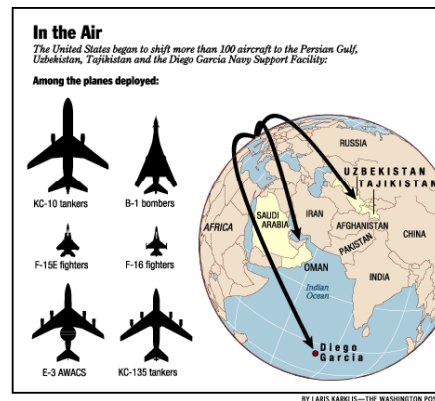
4

合衆国の反応

- 「新しい戦争」の始まり
- 反テロを軸とする国際社会の連帯を図る
特定のイスラム諸国・過激派との敵対関係激化
- 2001年10月7日 **アフガニスタン** 攻撃開始
アル・カーイダを率いる**ウサマ・ビン・ラーディ**を
タリバーン政権がかくまう
- 2001年12月8日
タリバーン政権崩壊

5

10月7日 米・英軍による攻撃の開始



6

カンダハール(タリバーン拠点)の空爆



対テロ戦争の拡大

- 01年12月8日 **タリバーン政権**が事実上崩壊
 - 02年6月暫定政権から移行政権へ。
 - 04年新憲法制定、カルザイ大統領選出
- 02年1月29日対テロ戦争の「**悪の枢軸**」国への適用
- 03年3月20日「**イラクの自由**」戦争→**フセイン**政権転覆

8

夜間のバグダッド空爆



フセイン政権の崩壊



10

アメリカの中央アジア・中東政策

- 中央アジアにおける米・露・中の利害
→ **イスラム原理主義勢力**の掃討と国境安定
- 中東情勢の安定化
→ **フセイン政権**による**パレスチナ情勢**への悪影響除去と**中東石油資源**の安定供給

11

- 特定のイスラム勢力・国家とアメリカの積年の緊張関係
→ **冷戦後地域秩序の混乱**

12



中央アジアのイスラム教

- ソビエト時代
 - トルコ系(一部イラン系)言語の共有
 - イスラム過激派への弾圧
 - 女性の社会的地位をめぐる摩擦
- ソビエト崩壊後
 - イスラム復興運動
ウズベキスタンのモスク: 80 (1990) → 5000 (1998)
 - イスラム原理主義の台頭
アフガニスタンに**タリバーン結成** (1995)

14



冷戦下のアフガニスタン

- 歴史
 - 18世紀中頃: アフガン族による国家形成
 - 1919年: 独立王国として国際承認
 - 1973年: **クーデター**で王制が転覆
 - 1978年: **クーデター**で親ソ政権成立
 - 1979年: **ソ連アフガニスタン侵攻** ← 対米要因
 - 1979-1990年: **冷戦の戦場**に
 - 1992年: 親ソ政府が転覆
 - 1995年: **カンダハール**に**タリバーン** (「イスラム学生」の意) 結成。

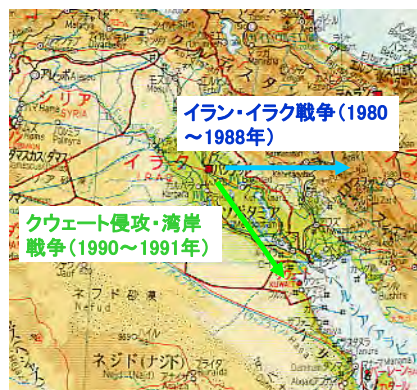
16

冷戦の戦場

- 対立の構図
 - アフガニスタン政府**
←ソ連が支援、12万の軍隊が駐留
 - 反政府勢力 = ムジャヒディーン** (イスラム聖戦士)
←アメリカ(CIA)、パキスタン、およびその他のイスラム諸国が支援
 - ウサマ・ビン・ラーディン**
- 結果
ソ連撤退、500万人にのぼる難民 (パキスタンとイランへ)、死者150万人以上

17

イラクの場合



18

フセイン政権転覆までの経緯

- 1979年: 大統領就任
イラン・イスラム革命
- 1980～1988年: イラン・イラク戦争
イラン革命の波及予防と国境改定
←アラブ諸国・欧米イラク支持
- 1990年: クウェート侵攻
油田・領土獲得→湾岸危機
- 1991年: 湾岸戦争
多国籍軍の前に敗北

19

- 1990～2003年: 国連による経済制裁
 - 大量破壊兵器製造疑惑、国連査察受け入れ拒否(98年)→散発的に英米の空爆
 - 制裁効果あがらず(密輸、国民の疲弊)
- 2003年: イラク戦争
 - 米英軍に敗北し、フセイン逃亡・逮捕
 - 米英主導で占領統治開始←占領兵へのテロ・襲撃(米兵の犠牲者は2006年末に3000人越える)
 - 大量破壊兵器は発見されず
 - 日本人官僚・ジャーナリスト・旅行者にも犠牲者

20

戦後復興と日本の役割

- アフガニスタン
 - 戦争直後から「後方支援」
 - インド洋での米艦艇への燃料補給、イージス艦による情報提供
 - テロ特措法は延長され、今国会で新テロ特措法(給油新法)争点に
 - 01年より人道支援開始
 - 02年東京でアフガニスタン復興支援国際会議開催
 - 03年9月までの復旧・復興支援と合わせて総額5億6000万ドル支援
 - 和平プロセス支援
 - 治安支援(兵士社会復帰、地雷、警察関連)
 - 復旧・復興支援(難民、インフラ、教育、保健、女性)
 - 近年タリバーンの復活、テロ頻発→邦人誘拐殺害事件

21

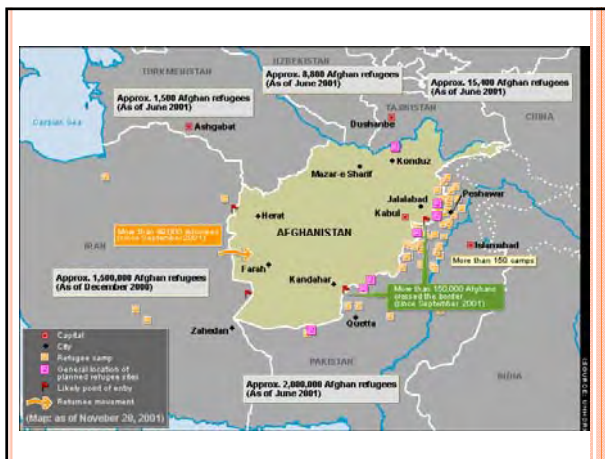
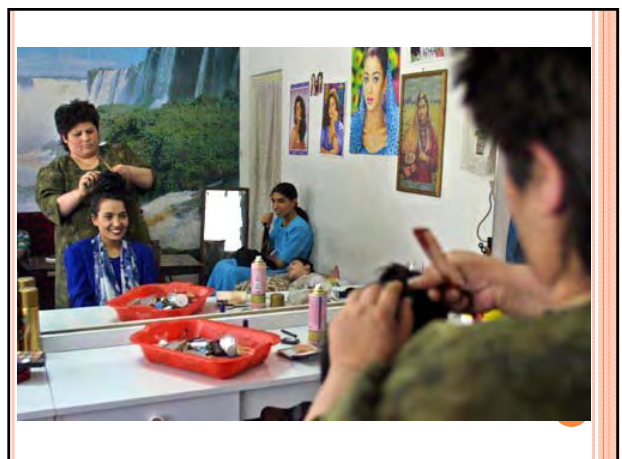


写真: UNHCR <http://www.unhcr.org/cgi-bin/texis/vtx/afghan?page=photos1>





○イラク

- 終戦後は**民族・宗派間対立とテロ**継続
 - イラク民間人、米軍要員、各国外交官やジャーナリストなど多くの犠牲者
- 03年: 陸上自衛隊(人的復興支援部隊)サマーワ派遣、ODA(政府開発援助)による支援も開始
- 05年: イラク新政府へ
 - 10月憲法案承認
 - 12月国民議会選挙(新政府樹立へ)
- 陸上自衛隊は06年7月に完全撤収
- イラク米軍長期駐留か？
- 詳しくはディスカッションで